

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	伊賀市			代表者名	岡本 栄
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	デジタル自治推進局	連絡先電話番号	0595-22-9622
担当者役職	主任	担当者氏名	北森 江里佳	連絡先E-mail	
住所	518-8501 三重県伊賀市四十九町3184番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署		連絡先E-mail	
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名	職員向けDX研修	
概要	職員のDX推進に係る意識醸成及び具体的なDX推進手法を習得するための研修。			
支援を求める分野	人材(DX推進のための機運の醸成) 人材(DXに関する知識習得・研修・育成)			

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	222	令和7年2月28日	講演	実地
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和7年2月5日	講演(実地)	9時00分	17時15分	60
				活動時間(分)	435
2-2. 派遣場所	会場名	伊賀市役所501会議室		最寄駅	四十九
	所在地	三重県伊賀市四十九町3184番地		最寄駅からの交通手段	徒歩

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	佐藤 泰格
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	<ul style="list-style-type: none">DXの推進側ではなく、実際に市民対応している担当課側の目線で話をしてくれて、職員側の気持ちとして聞きやすいこと。現場の職員が大変であることを肯定してくれるところ。都城市の実例(失敗・成功)の事例を交えて話をしてくれるため、イメージがしやすい。Slidoを使い、匿名で質問を受け付けてくれたため、心理的安全性が高く、質問がしやすかった。Slidoで受け付けた質問については、今回の研修に関係あることからないことまで、全て答えてくれたこと。事務局として全ての回に参加していたが、毎回違う事例を出していただき、どの回も新鮮な気持ちで臨むことができた。
アドバイザーへの要望事項	特になし

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	350人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	350	0	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none">業務改善(BPRやDXなど)の必要性について理解し、職員の意識醸成を図る。職員数が減少しても持続可能な行政経営のために、職員一人ひとりが、取り組むべきことについて考える。前例踏襲や現状維持が良いという考え方を改める。
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	一般職員に向けて広く研修をしていただき、職員の意識を醸成することで、下記の成果を目指す。 <ul style="list-style-type: none">組織や伊賀市の未来に対して危機感を抱ける他人事ではなく、自分事として考えることができる持続可能な行政経営職員数が減少しても運用可能な業務フローの構築事業のスクラップ

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的に記入下さい)	一般職員向けDX研修の開催	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的に記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> 職員から、現在のDXに対する忌憚のない意見を聞くことができた 職員の希望があった事項について対応できるものから対応していく（操作研修の開催など） 職員の希望があった事項で、すでに取り組んでいるものについては周知が足りないため、周知方法を改善する。 	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 研修を開催したが、行動変容についてはこれからのため、具体的な成果物はない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的に記入ください)	なし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別添のとおり(締め切りを3月14日(金)としているため、現時点の結果となります)	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある 来年度、管理職員向けDX研修を行う
4-4. 事業の最終的な目指す姿	伊賀市の安定した運営、伊賀市の存続、職員の負担の平準化・軽減、生産性の向上	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可 https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

